

学校評価のねらい

評価を通して課題を明確化し、学校への単なる批判や非難ではなく、人を励まし意欲を高め、よい点はさらに伸ばし、できていない点は改善することで、学校をさらに活性化することを目的とする。また教職員には授業力や学級経営力を伸ばすためのさらなる研鑽を積む機会とし、評価が学校への単なる要求に終わらぬためにも、家庭・地域・学校個々が果たすべき役割を明確にすることにつながるようにする。

	評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
4	・前年度の評価の検証 ・学校教育方針と評価の年間計画の検討（運営委員会）		
5	・学校評価について企画・実施時期の検討（評価委員会）		・年間計画を HP に公開
6	・休日参観の保護者アンケート①の実施と評価分析（評価委員会）		
7		・学校評議員の会①	
8			
9	・自己評価①の実施 ・生徒アンケート①の実施 ・外部評価①の実施 ・実施した評価の検証、課題の検討と改善対策 ・後期評価の検討 (教科会、各分掌部会、評価委員会、運営委員会、職員会議)		・評価結果を HP に公開①
10			
11	・授業公開日の保護者アンケート②の実施と評価分析（評価委員会）	・学校評議員の会②	
12			
1	・自己評価②の実施 ・生徒アンケート②の実施 ・外部評価②の実施 ・実施した評価の検証、課題の検討と改善対策（評価委員会、運営委員会）	・学校評議員の会③	
2	・実施した取り組みの反省と検証、課題の検討、改善策検討（評価委員会、運営委員会）		
3	・評価に対する年度総括（分析・検証・課題の明確化） ・次年度へ向けての改善策検討 ・次年度の評価計画、方針の共通理解 (教科会、各分掌部会、評価委員会、運営委員会、職員会議)	・学校評議員の会④	・評価結果を HP に公開②